

医労連速報 '14春闘

2014年3月6日 No17 東京都台東区入谷 1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

回答指定日まで1週間

3月5日緊急書記長会議で、直前意思統一

やるべきことをやりつくそう！

3月5日の中央行動後、緊急の加盟組織書記長会議を開催し、回答指定日を1週間後に控えた直前の意思統一を行いました。全国組合は当初から学習会を予定していたため、1全国組合39県医労連・70名弱の参加となりました。

12月の春闘討論集会で「4万円賃上げ要求」を提起し、早い段階から各組織で論議を行ってきました。14春闘はこれまで以上のたたかう構えと体制をつくってベアを取りに行くことなしには、生活は守れないことを根拠を示しながら論議してきました。

回答指定日に向けた経営者要請行動は、例年以上に重視して取り組まれてきました。参加した各県書記長からも今年の特徴や、最後まであきらめない決意が語られました。

一方で、要求提出状況は約半分の集約です(統一要請書44.6%、要求提出51.4%)。スト権確立は37.2%、3月13日の行動予定は16.4%に留まっています。加盟組織の取り組みを援助しながら、残す1週間、最大限奮闘し、産別に地域に結集して粘り強くたたかきましょう！

書記長会議での主な発言

- 九州地方協は、全県の民医連・生協の単組をまわった。論議の経過で、長崎は10数年ぶりにスト権を確立し、奮闘する決意を固めた。
- 四国では、他県からの経営要請がプレッシャーになったようだ。2万円要求も出せなかった組織が、今回は議論して4万円要求を提出した。

●中国地方協は、民医連を中心に2月10日～17日で要請。総論的な春闘状況には理解を示すが、回答になると「厳しい」と。消費税の戻拭いを何故我々がするのかなどのあきれた態度をとる経営者もいた。しかし、労組は生計費原則にのっとり、要求に確信をもってたたかうことが重要。岡山では、ベアなしにはストで闘うことを統一した。

- 京都は実践学習などを強化、5つのブロックでも春闘の意思統一図った。保事協組ではすでに500円のベア獲得。「昨年もベア出したが、実績下がっていない」と回答。
- 東海でも6県要請終了。初めての全面ストを構えてたたかう組織もできた。石川ではポイント賃金や夜勤手当の地域差を示し、到達闘争を強化する。看護師35歳の基本給で74,000円もの差がある実態。

- 関信も行った。この間の論議で1000円要求だった組織が生計費原則・スト配置で奮闘。定昇要求の組織も4万円要求にした。仲間が変化してきている。頑張りたい。
- 東北は初めて6県全部をみんなで要請・支部の激励を行った。精神のある病院では「皆さんの要求は正当」と。山形は、スト回避基準を7500円、半日ストを指示。経営者にも今年は「粘る」と通告している。